



横尾中だより

校訓「自立」 〈学校スローガン No Challenge, No Chance〉

R5. 7. 11
第20号

発行者
長崎市立横尾中学校
校長 小浦 末浩

昨日(7/10月)の午前中の雨や雷の影響はなかったでしょうか?九州北部や中国地方では、大きな被害が出た地域もあったようでした。避難警報も発令された地区もあり、お住まいの皆さんはたいへんだったことと思います。被害に遭われた皆様にお見舞いを申し上げます。

さて、1学期の終わりも見えてきました。明日から学校に来る日数は、6日間。7月20日(木)が今学期の終業式となります。先生方も、学期末の準備(通知表の準備)や夏休みの準備等で、忙しくなっています。ご家庭の方でも、夏休みの計画を立てておられるのではないのでしょうか。3年生は受験の夏ですが、ONとOFFの切り替えが大切です。ずっと勉強ばかりするとか、ずっと遊んでばかりいるといったことでは、精神的にも良くないことだと考えます。息抜きもしながら勉強に頑張る“夏”にしてほしいものです。息抜きばかりにならないよう、1、2年生もしっかりと勉強に取り組んでもらいたいものです。



3年：マナー講座

7月6日(木)の5校時、3年生は長崎女子商業高校の2名の先生と3名の生徒さんたちをお招きし、「マナー講座」を実施しました。礼の仕方、挨拶の仕方、廊下で先生方に出会った時の礼の仕方など、基本的なマナーについてお話をいただいたり、実際に高校生が手本を見せていただいたりして、実習中心に授業が行われました。高校生の実演があり、3年生もよくわかったのではないかと思います。

今後、オープンスクールや高校入試の面接などでも、今回の知識と経験は役に立つはずで、3年生は、しっかりと身に付けてほしいと思っています。

毎年、高校入試前には、私と教頭先生で最後の面接指導を行うことになっております。その時に、今回の実習の成果を見せてもらうことになると思います。



2年：研究授業



7月7日(金)の5校時は、長崎県教育委員会の原係長様、長崎市教育委員会の渡邊主任指導主事様にご来校いただき、令和5年度の本校研究指定に関わる中間指導をしていただきました。

当日は、2年生が「身近な中国を探す旅」の事前学習として、長崎外国語大学から2人の中国からの留学生をお招きし、語学研修と9月に2年生が中国領事館で発表するプレゼンテーションを見てもらい、アドバイスをもらうことを主目的に行いました。

留学生は、2人とも「オウ」さんで下の名前で呼ばせてもらいました。二人は中国の貴州市の出身で、貴州市にはアジア最大の滝である「黄果樹瀑布」があるという紹介でした。

授業では、2人の「オウ」さんへの質問タイムもあり、出身の中学校の様子や中国の食事などについても写真を交えての紹介がありました。参観している我々も興味をもつ内容でした。きっと生徒たちにとってもよい刺激になったことと思います。国際理解教育の一環としても役に立ったと感じました。

授業後には、二人の留学生が生徒たちに囲まれ、留学生の彼女たちにとっても日本の良い思い出になったことと思います。



公立高校入試制度改革

先週の木曜日の新聞に、令和7年度長崎県公立高等学校入学者選抜制度の改善方針について記事が載っておりました。今の2年生からが対象となります。市校長会でも簡単な説明がありましたが、新聞発表の内容程度の説明でした。

もう少し詳しい内容については、今後、また説明会などで明らかになっていくかと思っています。大きな改善点としては、3月に行われる後期試験が無くなり、2月第3週に行われるということと、試験の中に「探求的な問題」が一部入ってくることです。